

## 成人式は顔が見える規模で



本市は毎年約13,000人を対象とする大規模成人式をスーパーアリーナで開催してきました。コロナ感染拡大後、暫定的に2部制・3部制で開催されています。例年、式典終了後の「出会いの広場」では混乱を避けるために中学校ごとのプラカードが提示されますが、毎年1割以上の生徒が国立や私立、フリースクール等、地元中学校以外に進学していることや、不登校児童生徒への配慮はありません。

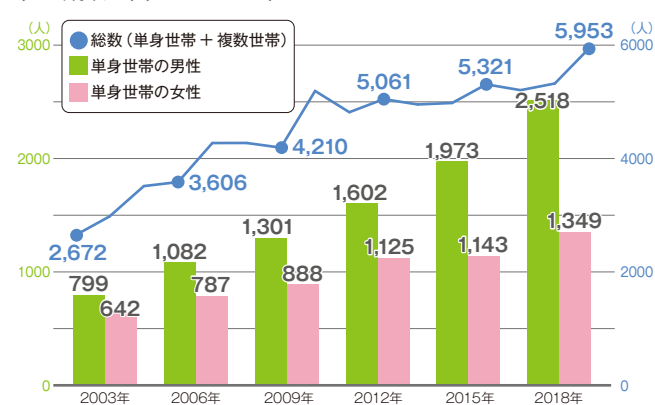
私は「疎外感を感じる新成人が一人でもいるのであれば『プラカード掲示』はやめるべき。大規模な成人式を考え直す必要がある」と求めました。そして、他市では、区ごとや複数区での開催、中学校区単位等別会場で開催していることを紹介し、中規模・小規模の「二十歳の集い」を提案しました。

## 増え続ける「孤独死」

昨年度、さいたま市の65歳以上の一人暮らしは55,934人、死亡者は9,946人。ところが市は「孤独死」の人数を把握していません。孤独死は法的に定義がなく、警察では「変死」とされています。死後数日たって発見されることは、尊厳が保たれた人生の最期とは言えません。対策を講じるには調査と把握が必要です。

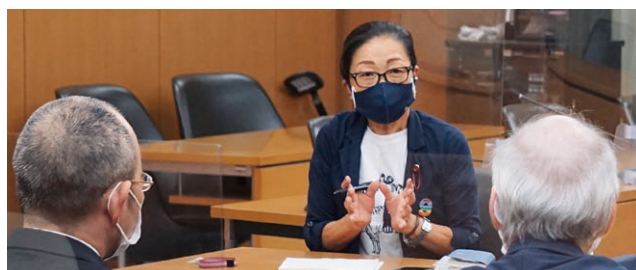
私は「もっとも市民に近い市町村が、警察や消防と連携して調査と把握を進めるべき」と質し、たった4%の方しか利用できていない「緊急通報機器」を、希望する一人暮らし高齢者宅に設置することを強く求めました。

東京都監察医務院で取り扱った自宅住居で亡くなった単身世帯(65歳以上)(H15～30)



## タクシードライバーから現実を聞く

大手タクシー会社A交通労組と懇談。「3年近いコロナ禍で乗客は激減」「歩合制であるため待ち時間の分は賃金に加算されず時給200円の日もあった」「カードや電子マネー利用の際の手数料は運転手持ち」「支援金は労働者には回ってこなかった」等、現場の切実な実態をお聞きしました。党県議団や国会議員とも連携し、特殊な働き方を明らかにし、改善を求めています。



## 市民アンケートの声から

中川自治会館近くの消防団倉庫前の交差点にカーブミラーの設置を求める声が寄せられました。さっそく関係所管に申し入れ、現地調査や地元消防団との協議を経て、カーブミラーが設置されました。



七里総合公園に時計の設置を求める声が寄せられました。関係所管と懇談を行い、東宮下・新堤・膝子3自治会連名で提出した要望書が受理され、設置が約束されました。

議案に対する質疑

2021年度も73億円の黒字  
市独自のコロナ対策・物価高騰対策を

私は市長が提案した昨年度の決算を含む29件の議案に対する質疑を行いました。

新型コロナの新規陽性者数が急増する大きな波は昨年未までに5回ありましたが、コロナ禍でも本市の市税収入は予算額を上回り、反対に給付金やワクチン接種事業では見込みを下回ったことにより73億円もの黒字です(一昨年も77億円の黒字)。630億円もの基金をため込みながら、市民が切望していたコロナ対策や物価高騰対策、市独自の施策は何ひとつ行わなかった清水市長の姿勢が問われます。

感染症予防事業においても国から17.7億円の交付を受け11.2億円活用し6.5億円も国に償還。私は「検査や医療にもっと活用できたのでは?」と質問しましたが、市は「必要なものは実施した」と答えました。市民の皆さんは「必要なものは十分実施された」と感じられたでしょうか。

昨年、多くの市町村が独自の予算で学校給食費や水道料金の減免を行いました。本市では一切行われませんでした。私たちは、黒字財政と多額の基金を活用した市独自の積極的なコロナ対策・物価高騰対策を今こそ、と求めています。

## 統一協会との関係を明らかにすべき

議会開会前日、党市議団は議長に対し統一協会問題について申し入れを行いました。多くの被害者を出した反社会的カルト集団である統一協会と議員との関係について、さいたま市議会として各議員の実態を調査・把握し今後関連団体との関係を絶つことを議長から各会派に要請することを求めました。



議長への申し入れ(1回目)

日本共産党 さいたま市議会議員

とば めぐみ

お問い合わせ  
とばめぐみ事務所：見沼区蓮沼471  
TEL 048-686-7069  
市役所内 日本共産党議員控え室  
TEL 048-829-1811



日本共産党さいたま市議団

さいたま市浦和区常盤6-4-4(さいたま市役所内)

TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165

ホームページ <http://www.jcp-saitama.jp/>



# 物価高・コロナ禍から命とくらしを守るさいたま市へ

9月議会に報告された2021年度決算は、コロナ禍のもとでも過去最高水準の大幅黒字になり、市民のために十分使われていないことが明らかになりました。さらに多額の基金残高も明らかに。私たちは、これらを物価高対策の財源に使い、市民生活と地域経済の支援をするよう提案しました。

## 2021年度決算は大幅黒字

一般会計 **73億円黒字**

財政調整基金  
残高 **225億円**

水道会計 **52億円黒字**

国民健康保険基金 **9.5億円**

介護保険基金 **44.5億円**

## 以下の緊急対策を提案しました

給食費値下げなどくらし支援

中小業者支援給付金など  
経済支援

水道料金値下げ

国民健康保険税値下げ

介護保険料値下げ



## 2023年度予算要望を提出

**760項目**

来年の予算がこれから本格的につくられます。日本共産党市議団は今後も続く物価高対策として公共料金や保険料を引き下げること、地域経済支援の実現などを求めました。あわせて市全体としてジェンダー平等や地球温暖化対策の視点を入れることも強調しています。

予算の使い方を大型開発優先、福祉・教育費の削減・抑制から、くらし最優先に変えることを求めます。

## あなたの声を市政に届けて 令和3年度の実績 (2021年4月～2022年3月)

### 1 新型コロナ対策

- ワクチン接種予約の改善[コールセンターのフリーダイヤル化・回線増、ウェブ予約システム改修(医療機関の空き一覧掲示、1回目と同時に2回目の予約が可能に)]
- 保育士、小学校教員、幼稚園教諭、学童保育支援員などへのワクチン優先接種が実現
- 小規模企業者等給付金(10万円)の第3弾を実現
- 医療体制の拡充が実現

- 新型コロナ対策としての融資制度の継続が実現
- 子育て世帯への特別給付が受け取れなかった世帯に対し「支援給付金」の支給が実現

### 2 物価高騰対策

- 認可保育所への光熱費補助が実現
- 国の月次支援金を受給する人も小規模企業者等給付金を申請可能に
- 商店街街路灯全額補助の継続が実現
- 農業機械のリース制度について業者との調整が実施

### 3 誰もが暮らしやすい市政へ

- 学校トイレへの生理用品の配置、拡充を実現
- 「校則見直しプロジェクト」の実施継続
- オンライン学習通信費補助額が増額(年額12,000円→14,000円)
- 児童発達支援センターひまわり学園の通所日数や看護師増などの改善
- 障がい者の移動支援が拡充

- 市立ひまわり特別支援学校に高等部が増設へ
- 福祉避難所への直接避難が可能に
- 避難所の備品(ファミリーパーテーションや段ボールベッド・エアマット)拡充
- 市庁舎内のプラごみのリサイクルと実証実験を実現
- 市のCO<sub>2</sub>排出削減目標(35%→46%)の引き上げ
- 生ごみ処理容器等購入費補助(コンポスト)の予算が増額
- 犬・猫の殺処分ゼロを達成
- ドッグランの「社会実験」が実現(浦和区三崎地区公園)
- ケアラー支援条例が制定
- 公民館のWi-Fi設置が5カ所から10カ所に増設

## 高校生までの医療費無償化を求める請願が不採択に

保健福祉委員会に「高校生までの医療費無償化に対する請願」が提出され、私たちは「東京23区をはじめ、政令市でも18歳まで医療費無償化の実施自治体が広がっている。本市でも実現を」と、採択を求めましたが、民主改革市議団、自民党市議団が反対して可否同数、委員長(自民党)が可否を決し、否決(不採択)となりました。大変残念ですが、引き続き、実現のために全力を尽くします。



採択を求めて討論するとうみ市議

徹底  
解明!

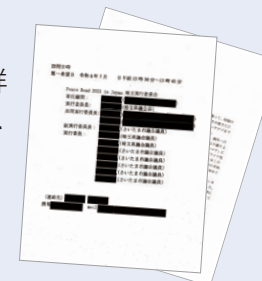
## さいたま市と統一協会

8/22 党市議団として、市に対して統一協会とさいたま市の関わりを調査を依頼。

9/1 清水勇人市長が記者会見で、統一教会系イベント「ピースロード埼玉」から表敬訪問を受けたことを報告。その際、「調査の結果、2018～2021年まで4回表敬訪問を受けた」「地元議員から要請があった」と話す。

9/7 議長に対し、議員と同団体の関係を調査するよう働きかけることを要望。議長は「今後、大きな問題になれば検討する」と回答。

9/9 「ピースロード埼玉」の表敬訪問の詳細資料の提出を依頼。出された資料には、埼玉県議3名、さいたま市議6名の肩書が。しかし氏名は黒塗り。



9/13 たけこし連市議が代表質問。黒塗りで提出した理由や当該市議に資料請求時に連絡をしたかなどを追及。

9/14 読売、朝日、東京、埼玉の各メディアが代表質問を報道。

9/26 議長に対し、「議会として調査すべき」と再申し入れ。議長は「代表質問後、多くのマスコミが報道し、市民の関心も高まった。各会派に調査を要請したい」と回答。



議長へ申し入れ

9/29 議長の調査要請を受け、民主改革さいたま市議団の市議2名が、統一協会のイベントに出席していたことを公表。

10/3 議長が代表者会議において、各会派に統一協会との関わりについて調査を行うよう要請。しかし、さいたま市議会自民党議員団が調査を拒否。

10/19 中島隆一市議(中央区・自民党)が会見を行う。「イベントには行った。黒塗りの中に名前は記載されていない」と発言。

10/21 中島隆一市議が2度目の会見。「黒塗りの中に名前があることを議長に教えてもらった。勝手に書かれていたようで、自分は知らなかった」と発言。

10/28 党市議団が「議員と統一協会との癒着に関する緊急声明」を発表。

11/3 埼玉新聞が調査を行い「市議13名に関わりを認め、調査拒否7名、未回答3名だった」と公表。